

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		さくらがおか児童館運営費 [さくらがおか児童館運営事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 6	児童館費	事業番号	7			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	青少年（青少年）			課 青少年育成（青少年育成）			係	課長名	石川 博隆		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進							総合計画書 (ページ)	59			
1 この 仕事 の 目 的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	児童館周辺に在住の0～18歳未満の乳幼児・児童数とその保護者 →				市内の0～18歳未満の乳幼児・児童数 (令和4年3月1日現在)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
	①児童館を利用する児童が、遊びや行事を通じて成長できるようにする。 ②乳幼児が安心して遊べる場所の提供、保護者同士の交流・情報交換ができるようにする。 →				①児童の来館者数（延べ人数） ②乳幼児及びその保護者の来館者数（延べ人数） (1)乳幼児 (2)保護者						
2 指標 の 推 移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	①児童の居場所の提供。児童向け行事の開催。ランドセル来館の実施。 ②乳幼児の遊び場、保護者同士の交流・情報交換の場の提供。乳幼児親子向け行事の開催。1歳・2歳児親子サークルの実施。 →				①年間実施回数 (1)児童向け行事 (2)ランドセル来館 ②年間実施回数 (1)乳幼児親子向け行事 (2)1歳児親子サークル／2歳児親子サークル						
3 経 費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	人	13,328	13,178	12,874					
	成果指標	②の数値	延べ人数	①18,715 ②(1)3,362 (2)2,886	①6,016 ②(1)1,618 (2)1,650	①7,328 ②(1)2,190 (2)1,826					
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方 令和3年度は、国の緊急事態宣言発令にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。							
4 環 境 変 化 等	活動指標	③の数値	回	①(1)24 (2)289 ②(1)16 (2)18/22	①(1)20 (2)292 ②(1)10 (2)6/6	①(1)13 (2)292 ②(1)8 (2)17/17					
	事業費（実績）		円	10,101,030	11,090,911	12,193,282		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）			
	財源	一般財源	円	8,064,540	8,145,691	9,578,282					
		特定財源（国・都・他）	円	2,036,490	2,945,220	2,615,000					
		（うち受益者負担）	円	21,490	0	0					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人								
	職員人件費(再任用以外)	円	8,310,000	8,380,000	8,250,000						
	職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	18,411,030	19,470,911	20,443,282						
4 環 境 変 化 等	(1) 開始年度		昭和51 年度								
	(2) 環境の変化		・令和2年度から引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、令和3年度も児童館運営に影響を及ぼした。児童館内の清掃・消毒、手洗いの励行、手指の消毒、換気等を徹底し衛生管理に努めている。児童館行事においても、密を回避するなどの対策を講じて実施してきたが、これからの行事の在り方を考えるきっかけとなった。普段の遊びを充実させる活動内容に取り組んでいる。 ・子育て支援の必要性が高まり、子育てひろばの物品購入や安心して利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、初めて利用する親子も増えているが、頻繁に通い慣れ親しんでいる親子も多く、子育てひろばの利用が定着している。								

事業名称	さくらがおか児童館運営費 [さくらがおか児童館運営事業]			
担当部署・課長名	青少年（青少年）	課 青少年育成（青少年育成）	係	課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・コロナ禍で交流など難しいなか、定期的にイベントがあり普段できない経験ができて嬉しい。親子とも友だちができました。 ・子育てひろばのおかげでリフレッシュできて助かる、安心して遊べる場所になっている。 ・母親たちの（話をするだけ）交流座談会みたいなものがあると嬉しい。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 なし			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ・より充実した子育てひろば及び乳幼児事業の拡大を図る。また、引き続き利用しやすいよう環境を整える。 ・新たな生活様式を取り入れた児童館運営と環境整備を図る。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 ・乳幼児親子にアンケートの実施や利用者の声を聞く機会を設けた。子育てひろばに係る備品購入や乳幼児親子が利用しやすい環境づくりに取り組んだ。 ・子育て支援職員研修等を積極的に受講し、児童館運営の充実を図った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・子育てひろば及び乳幼児事業の拡充を図る。気軽に乳幼児親子が交流ができる場所の提供と利用しやすい環境を整える。 ・児童館活動の内容の刷新と環境整備を図る。職員の知識の向上、コミュニケーションの円滑化に努める。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 ・小学生の一般来館児童は横ばいながらも、ランドセル来館児童の登録者及び利用割合が増加している。児童館行事の見直しをし、新たな児童館の魅力を発信と利用者の増加につなげる。 ・地域子育て支援拠点事業の充実を図るため、子育てひろばの環境整備と利用者との関わりを深め、安心して利用できる児童館を目指す。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・児童館の活動について、季節の行事を取り入れながらも普段の遊びを充実させる活動内容を展開していく。 ・子育てひろばを更に充実させるため、利用者のニーズを聴取しながら、新しい乳幼児事業を実施。 ・職員の知識の向上、コミュニケーションの円滑化に努める。			